

事例3

事業名 ターミナル地下鉄駅のバリアフリー案内マップ作成配布事業

課題

障がい者・高齢者・子育て家族・介助者の方たちが安心して外出できるようにしたい。

効果

障がい者・高齢者・子育て家族・介助者の方たちに判りやすい外出支援情報として「ターミナル駅のバリアフリー案内マップ」を作成・配布することで、外出のきっかけとなります。また、外出者が増えることで、まちの案内情報の改善につながります。

協働のパートナー

☆経費の形態☆補助

NPO 法人まちの案内推進ネット

まちの案内情報環境の充実を図ることを通じ、交通バリアフリー情報の普及による高度福祉社会の実現等を目的とした法人です。

市民局市民部地域活動課（市民活動）

大阪市の公共を担う重要な担い手として市民活動団体の活動を促進するという目的を持っています。

事業の概要

大阪の主要ターミナルである梅田・心斎橋・なんば・天王寺は、地下街もあり鉄道の乗換は障害のない人でもわかりにくく迷いやすい状態です。エレベータを利用しなければならない障がい者・高齢者ではなおさらです。そこで、ターミナル地下鉄駅と周辺を調査し、ホームから私鉄・JR 駅へのバリアフリーな移動経路と地上出口をわかりやすく表現した案内図を作成。持ちはこびやすいサイズのマップにまとめ5万1千部作成。市民・来街者が入手できるよう、区役所、地下鉄22駅、案内所、府・市・区の社会福祉協議会等を通じて配布しました。

事業対象者 障がい者・高齢者・子育て家族・介助者及び他都市や海外からの来街者

事業の実施地域 大阪市内（24区役所、市役所、地下鉄22駅、案内所）等

発行部数 51,000部



協働のパートナーとの出会い

☆市民活動団体から！

大阪市市民局が、公募で市民活動推進基金等助成事業の事業企画案を募集し、応募のあった事業から、選定会議にて選定しました。

プロセス

① 選定会議の設置、募集要項の作成	★選定会議は、よりよい事業を選定するために必要な知識等を持った方で構成しました。	P
② 事業企画案募集	★事業趣旨に賛同する団体にあらかじめ登録いただき、登録団体に対して募集を行いました。	
③ 事業の選定	★選定基準をできる限り明確にした上で、第一次審査は書類審査、第二次審査はプレゼンテーションを行いました。	
④ 駅の現場確認調査の実施 マップの構成検討とデザイン	☆主要ターミナルの現場確認やマップのデザインを検討しました。	D
⑤ マップの校正 マップの印刷	♡ ◎関係局とも調整のうえ、マップの校正を行いました。	
⑥ マップの配布	◎24区役所、市役所、地下鉄22駅、案内所等への配布を行いました。	
⑦ 振り返り・報告会	♡ ◎選定会議の委員も招いて報告会を行い、目標が達成できたかを振り返り、改善点を検討しました。	CA

※役割分担：☆協働のパートナー ★大阪市 ◎両者

♡ は、協働のポイントです。

協働で実施する理由！

・協働のパートナーであるNPO法人まちの案内推進ネットは、まちの案内情報や交通バリアフリー情報に詳しく、これまで他都市においてもバリアフリーマップを作成した実績を持っており、より適切な事業を実施することができます。

ここがよかった！ ～実践者の声～

- ・ターミナル地区での移動円滑化は他都市においても共通する課題。地元大阪で改善に向けた事業を実施できたことは喜びである。
- ・えきペディアWEBやスマートフォンアプリでバリアフリー情報を提供しているが、年齢や障がい有無にかかわらず、だれもが利用しやすい印刷物による情報提供への要望が強く、これに応えることができた。
- ・この事業を契機に、移動円滑化経路案内マップのデザイン面でのわかりやすさに向けた改善を実施できた。
- ・利用者の方からは、「色がきれいで使いやすい」「もっと色々なところで配ってほしい」との意見がありました。